



SEC CARBON

第104期
中間報告書

2023年4月1日 ▶ 2023年9月30日

SECカーボン株式会社

証券コード：5304

株主の皆様へ



代表取締役社長

中島 耕

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社は2023年9月30日をもちまして、第104期事業年度中間期(2023年4月1日～2023年9月30日)の決算を行いましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

当中間期は、国際情勢不安による原燃料及びエネルギーコストの高止まりや円安進行による物価上昇などの影響により、事業環境は不透明な状況が継続しました。世界経済の持ち直しを背景にアルミニウム製錬用カソードブロックの販売が好調でしたが、炭素業界における製品需要は、対面業界の景況に依るところが大きく、近年はコロナ禍からの回復状況が当社製品の売上構成に大小さまざまな影響をもたらすようになりました。今後も炭素製品の需要動向を的確に把握しつつ、経営資源の最適化を図り事業の持続的な成長に繋げていきたいと思っております。

また今期は第8次中期経営計画の最終年にあたります。これまでに将来へ向けた成長投資、戦略投資などの各種施策を概ね計画通りに実行してまいりました。引き続き中期経営計画に掲げた目標の達成に向けて、全社一丸となって取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年12月

事業の概況 (2023年4月1日～2023年9月30日)

●当中間期の事業の概況

当中間期の世界経済においては、新型コロナウイルス感染症に関する行動制限が緩和され、一部地域に弱さが見られるものの、概ね景気に持ち直しの動きが見られました。一方、世界的な金融引締めに伴う影響やウクライナ情勢に伴う物流の混乱、原燃料やエネルギーコスト等の物価上昇、中国における不動産市場の停滞に伴う影響等があり、先行きの経済見通しについては、下振れリスクを抱えており、不透明な状況が継続しました。

我が国の経済においては、消費者物価の上昇が際立つ状況の中、個人消費、設備投資、企業収益等では、概ね持ち直しの動きが見られ、景気は緩やかに回復しました。

このような状況下、当社グループでは、コストダウン、製品の拡販及び品質向上等経営体質の強化に取り組んでまいりました。

当中間期では、世界経済の持ち直しを背景として、特にアルミニウム製錬用カソードブロックの販売が好調でした。その結果、売上高は167億9千1百万円となり、前年同期に比べて34.1%の増収となりました。

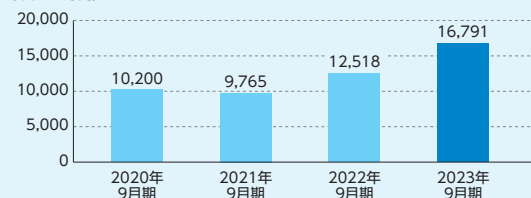
損益面に関しましては、電力料金等の上昇によるコストアップ要因はあったものの、販売数量の増加や為替レートが円安に推移したことによる輸出の収益性改善により、増益となりました。その結果、営業利益は48億6千8百万円(前年同期比107.6%増)、経常利益は56億5千1百万円(前年同期比85.8%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は38億6千3百万円(前年同期比80.8%増)となりました。

なお、当社グループは炭素製品の製造・販売を主な事業とする単一セグメントであります。当中間期における製品別の売上高については、次のとおりであります。

連結財務ハイライト

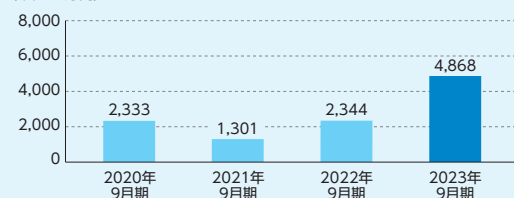
●連結売上高

(単位:百万円)



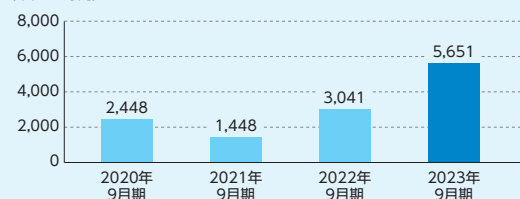
●営業利益

(単位:百万円)



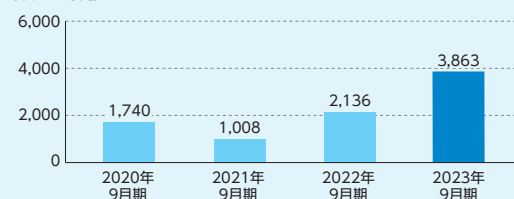
●経常利益

(単位:百万円)



●親会社株主に帰属する中間純利益

(単位:百万円)



●各製品別売上高の概況

・アルミニウム製錬用カソードブロック

総じて堅調なアルミニウム需要を背景とし、製錬会社の更新需要も拡大したため、販売数量は増加し、円安の影響もあって販売価格は上昇しました。その結果、売上高は120億9千4百万円となり、前年同期に比べて63.2%の増収となりました。

・人造黒鉛電極

国内外において、粗鋼生産が低調に推移しており、販売数量は減少しました。その結果、売上高は24億6千8百万円となり、前年同期に比べて20.7%の減収となりました。

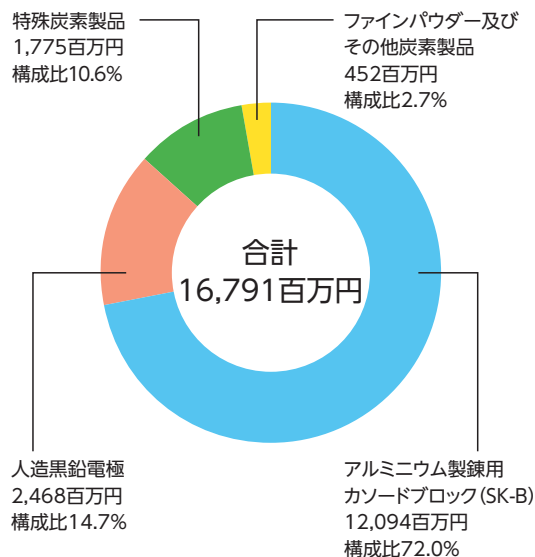
・特殊炭素製品

一般的に需要が堅調であり、特に非鉄金属関連向けの販売数量が増加しました。その結果、売上高は17億7千5百万円となり、前年同期に比べて13.1%の増収となりました。

・ファインパウダー及びその他炭素製品

その他炭素製品である加炭材等の販売数量が増加しました。その結果、売上高は4億5千2百万円となり、前年同期に比べて6.6%の増収となりました。

当中間期連結売上高構成比



●通期の見通し

通期の業績予想につきましては、当中間期の業績は想定の範囲内で推移しておりますが、今後の経済情勢については先行きの見通しを立てにくい状況となっているため、2023年5月12日に公表した予想を変更しておりません。今後の業績動向を踏まえ、修正が必要と判断された場合は速やかに公表いたします。

なお、2023年5月12日に公表いたしました当社グループにおける通期の業績予想は連結売上高378億円、営業利益66億円、経常利益69億円、親会社株主に帰属する当期純利益47億円となっております。

配当について

●配当方針

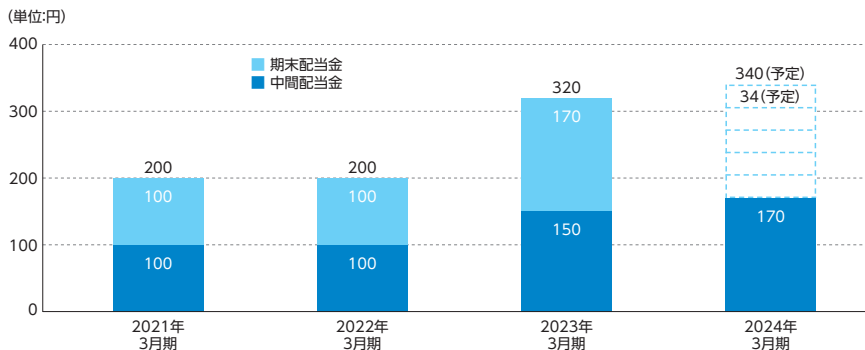
当社は、株主の皆様への永続的かつ安定的な利益還元を経営の最重要課題と考えており、剰余金の配当につきましては、各事業年度の業績を勘案し、企業体質の強化のための投資等に必要な内部留保を確保しながらできる限り安定的に実施していくことを配当の基本方針としております。

●当期配当

配当金につきまして、株主の皆様のご支援に報いるため、上記方針に従い次のとおりとさせていただきます。なお、期末につきましては確定次第お知らせいたします。

1. 中間 1株当たり170円
2. 期末 // 34円（予定）

●配当金の推移



●株式分割のお知らせ

株主・投資家の皆様にとって、より投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大と市場流動性の向上を図ることを目的に株式分割することといたしました。

2023年12月31日（同日は株主名簿管理人の休業日につき、実質的には2023年12月29日）を基準日として、同日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する当社普通株式1株につき、5株の割合をもって分割いたします。

分割比率

1 対 5

分割基準日：2023年12月31日
効力発生日：2024年1月1日

例：分割前にSECカーボン株を100株保有している場合（株価10,000円）

分割前に保有していた100株が
100株 100万円

分割後

5倍の500株となります
500株 100万円

燃料電池フォークリフトの実証事業への参画について

京都府では、府北部地域における水素サプライチェーンの構築に向け、水素を燃料とする燃料電池フォークリフト（以下、フォークリフト）を配置し、導入意欲や燃料供給体制の課題を探る実証事業を行っております。

当社は、この実証事業に令和4年度から参画し、京都工場にはフォークリフトが1台試験導入されました。燃料は、水素供給施設（舞鶴市）から参画企業を巡回する専用トラックによって京都工場に運ばれます。専用トラックからフォークリフトには3分程度で燃料が充填され、1回の充填で約8時間稼働、非常時には電源としても活用できます。今年度も同事業の継続が決定しており、天候による道路事情の影響を避けるため長田野工業団地（福知山市）内での実証となり、マザーステーションに水素製造施設を設置して供給体制を整備するなど、昨年の問題点を改善した取り組みとなっております。

当社はカーボンニュートラルの実現に向け、二酸化炭素を原料とする炭素粒子の製造などの研究開発を進めておりますが、今回のフォークリフト実証事業への参画、電気自動車の導入など二酸化炭素を排出しないさまざまな取り組みも進めてまいります。



福知山市民運動場野球場のネーミングライツを更新いたしました！

2019年4月より5年間取得しておりました福知山市民運動場野球場のネーミングライツ（命名権）をこの度更新いたしました。「福知山SECカーボンスタジアム」の名称もこの5年間でかなり浸透してまいりましたが、これからもスタジアム周辺の清掃活動や野球教室イベントなどを実施して、より一層、地域の皆様に愛され、親しんでいただけるスタジアムとなるよう努めてまいります。

1. 施設の名称：「福知山SECカーボンスタジアム」
2. 契約期間：2024年4月～2029年3月（5年間）
3. 所在地：福知山市民運動場 京都府福知山市字和久市235番地



会社概要 (2023年9月30日現在)

商号	SECカーボン株式会社
設立	1934年10月23日
資本金	5,913,872,864円
発行済株式総数	4,138,868株
主要製品	アルミニウム製錬用カソードブロック (SK-B) 人造黒鉛電極 特殊炭素製品 ファインパウダー及びその他炭素製品
ホームページ	https://sec-carbon.com/

役員 (2023年9月30日現在)

代表取締役会長	大谷民明
代表取締役社長	中島耕
取締役	長谷川和重
取締役	田畑洋
社外取締役	大谷壽一
社外取締役	森千春
常勤監査役	井上雅文
常勤監査役	森下宏也
社外監査役	岡和彦
社外監査役	早崎寛

(注) 大谷壽一氏、森千春氏、岡和彦氏及び早崎寛氏は、株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

事業所

本社
〒661-0976
兵庫県尼崎市潮江一丁目2番6号
JRE尼崎フロントビル6階
TEL (06) 6491-8600

東京事務所
〒103-0027
東京都中央区日本橋二丁目15番3号
平和不動産日本橋ビル7階
TEL (03) 3279-0700

名古屋営業所
〒460-0002
愛知県名古屋市中区丸の内一丁目17番19号
キリックス丸の内ビル8階
TEL (052) 231-5765

京都工場
〒620-0853
京都府福知山市長田野町三丁目26番地
TEL (0773) 27-2411

岡山工場
〒704-8147
岡山県岡山市東区正儀4700番地の2
TEL (086) 946-1500



京都工場 (福知山市)
50万㎡の敷地を有する世界トップクラスの一貫生産工場

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	毎年6月開催		
基準日	定時株主総会	3月31日	
	剰余金の配当	期末	3月31日
		中間	9月30日
単元株式数	100株		
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)		
公告方法	電子公告によります。ただし、やむを得ない場合は日本経済新聞に掲載します。 公告掲載の当社ホームページアドレス https://sec-carbon.com/		
証券コード	5304		

株式に関するお問い合わせ先

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社等 になります。	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
お電話 お問い合わせ先		☎ 0120-094-777 (通話料無料) (平日9:00~17:00)
各種手続き (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)		インターネットホームページ https://www.tr.mufig.jp/daikou/
未払配当金のお支払		株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社